

天皇	藤原氏	有力者	政変など	政治など
(女)	・南家		① 光明皇太后の信任 ② 756 聖武上皇の死 ③ 757	① 752 大仏開眼供養 ② 754 来朝 ③ 757 施行
→ 淡路へ			① 光明皇太后の死 → の進出 ②	
(重祚)			・ 太政大臣禪師→ 769 (豊前国) → が阻止	765 寺院以外に加墾禁止令
・ 天智系 (孫)	・ 式家		770 道鏡左遷 → へ	772 開墾無制限

【藤原仲麻呂/孝謙・淳仁天皇】

\* 仲麻呂の台頭

仲麻呂は皇后宮職を紫微中台と改めその権力を強化。さらに紫微内相となり、光明皇太后と手を組んで勢力を伸ばした。しかし光明皇太后の死後に最高権力者の地位が孝謙上皇へと移ってしまい、その結果として道鏡の進出&仲麻呂が地位を追われることとなり恵美押勝の乱が引き起こされる。

\* 754 鑑真の来朝

6 度にわたる渡日挑戦の末、来日。(その様子は淡海三船による「東大和上東夷伝」に詳しい。)日本に初めて戒律を伝え、東大寺に戒壇を設立する。(のちに筑紫観世音寺、下野薬師寺にも→本朝三戒壇) また唐招提寺の建立もおこなう。

\* 757 橘奈良麻呂の変

橘諸兄の子、奈良麻呂による政変。藤原氏の台頭に危機感を抱いていた。

【道鏡/称徳】

\* 称徳天皇の重祚

孝謙上皇が淳仁天皇に代わり、称徳天皇として即位。歴代天皇で重祚を経験したのは「皇極→斉明天皇」と「孝謙→称徳天皇」のみ。